

現行計画の課題整理と次期計画に向けた検討について

1 歴史まちづくり計画の進捗状況（中間報告より）

現状の課題と今後の方針		
現状の課題	1	歴史的建造物やまちなみの保全及び伝統的祭礼の継承に関し、保護や支援の対象となっていないものが多く、保護や支援の対象となっている地域・対象であっても、滅失・衰退が進行している。
	2	歴史まちづくりへの市民の理解を得るための情報発信や、歴史的建造物や伝統的祭礼を活用した観光振興が不十分である。
	3	歴史的建造物や祭礼の調査研究について、文化財等未指定のものを含めた総合的な把握ができていない。
今後の対応方針	1	歴史的建造物やまちなみの保全及び伝統的祭礼の継承への対応 ❖ 歴史的建造物や伝統的祭礼の継承のために導入している保全制度や支援制度を有効に運用する。 ❖ 地域に合ったまちづくり勉強会を実施し、行政と住民が密に情報を共有して、現在行われている保全制度や支援制度の手法に検討を加えるほか、新たな制度の導入を検討する。
	2	歴史的建造物や伝統的祭礼を活用した観光振興や情報発信への対応 ❖ 観光振興や歴史まちづくりへの理解を促すため、ホームページやツイッター等 SNS を活用して、最新の情報を積極的に外部に提供するほか、その他の広報媒体の利用も検討し、実施する。 ❖ 庁内各課の、歴史まちづくりに関連する事業の相乗効果を高めるため、観光部局などとの情報共有を密にし、歴史的資源を活かした着地型観光の促進などについて検討する。
	3	歴史的建造物や伝統的祭礼の調査研究への対応 ❖ 市民との協働、継続的・計画的な調査体制を確立し、文化財保存活用地域計画の策定等を目的とした調査研究を実施する。

2 歴史まちづくりの今後の課題と対応

- (1) 中間評価により抽出した課題への対応
- (2) 地域の活性化に向けた課題への対応
 - ・地域の歴史文化を活かした産業振興（観光業、建設業、飲食業等）、移住・起業の促進
 - ・歴史文化の担い手育成等を通じた地域コミュニティ活性化

3 第2期計画作成に向けた検討について

中間報告の課題対策に加え、移住促進や新たな観光振興策など、地域固有の歴史文化に対する期待が高まっており、長期的な戦略を持った総合的な取り組みが必要となっている。来年度からは「文化財保存活用地域計画」作成に伴う歴史文化の総合把握調査に着手するため、第2期計画作成を見据えた現状課題整理と共に、行政と地域、民間事業者が協働で進める具体的な対策を検討したい。

また、「文化財保存活用地域計画」は令和3～5年度の3年間を作成期間とし、令和6年度の認定を目指しているため、現行の歴史まちづくり計画（令和4年度終了）の計画延長も視野に、連携した取組を進めたい。